

キッズクロスプロジェクト

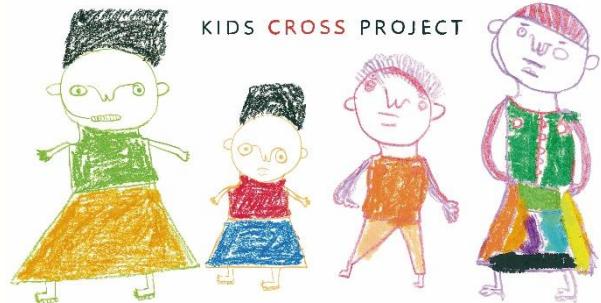
—アフリカの子どもの健やかな成長と教育のために—

社会課題

日常的に様々な危機にさらされる子どもたち。

サハラ以南のアフリカでは、食糧不足や自然災害、感染症の蔓延など、複合的危機が常態化し、その影響を最も受けているのが子どもたちです。多くが発育不良や急性栄養不良の状態に置かれ、子どもたちの健やかな成長や教育の機会が奪われています。

また、この地域は世界でも特にHIV 感染率が高く、100万人以上の子どもがHIVに感染しています(世界子供白書2024)。感染によって親を失い孤児となるケースも多く、差別や偏見にさらされるなど、精神的・社会的にも深刻な影響を受けています。



アフリカ地域の子どもたちが「わたしの大切な家族と友だち」というテーマで描いた絵をプロジェクトデザインに。
©日本赤十字社

赤十字の解決策

アフリカ6カ国を対象に、子どもたちやその家族、地域の人々のウェルビーイング(健康・学び・保護・尊厳)を向上するための様々な活動を展開。

南部アフリカ：HIV/エイズ支援

【ザンビア共和国】

- ・HIV/エイズの影響を受けた孤児の教育・心理社会的支援
- ・水と衛生の研修
- ・気候変動対策(植樹)の推進 等

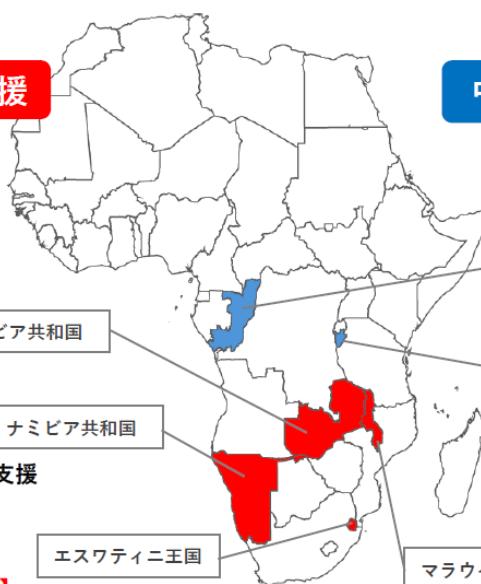
中部・東アフリカ：栄養改善

【コンゴ共和国】

- ・子どもの発育・栄養状況の調査
- ・家庭菜園の導入研修
- ・栄養教育、調理実演 等

【ナミビア共和国】

- ・子どもへの教育・心理社会的支援
- ・HIV/エイズ患者や貧困世帯への生活支援
- ・若年女性への健康啓発 等



【エswatiini王国】

- ・若者への心理社会的支援
- ・性と生殖に関する健康研修
- ・女児支援(月経衛生パック配付) 等

【マラウイ共和国】

- ・地域保健活動
- ・児童の奨学金・学用品支援
- ・肥料、種子、家畜の提供 等



社会的なアウトカム

「身体測定」で子どもの発育不良を見逃さない。

コンゴ共和国では、栄養不良に起因する乳幼児の死亡率が非常に高く、子どもの栄養失調が深刻な問題となっています。キッズクロスプロジェクトでは、子どもたちの発育状況を把握するためにスクリーニング（身体測定）を実施し、約1,000人の子どもの成長を確認しました。発育に問題が見られた子どもには、その重症度に応じて栄養指導や保健センターでの適切な治療を行い、早期発見・早期治療によって子どもたちの健やかな成長を支えています。



身体測定をするコンゴ赤十字職員

エイズ孤児を含む、脆弱な子どもたちの「心と体」に寄り添う。

エスワティニでは、世界でも有数のHIV感染率の高さが課題となっており、エイズ関連疾患によって家族を失い孤児となる子どもや、子ども自身がHIV陽性となるケースも少なくありません。こうした厳しい状況にある子どもたちに対し、同国赤十字社が運営するシレレクリニックでは「心理社会的支援」を提供しています。子どもたちの声に耳を傾けるだけでなく、治療の継続の重要性や「性と生殖に関する健康」についての啓発活動を通じて、心と身体の両面から子どもたちの健康を支えています。



クリニックでの健康相談の様子

「赤十字ボランティア」が地域住民の健康な暮らしを見守る。

マラウイでは、「コミュニティベースの健康・応急処置アプローチ」を活動の中心に据え、地域住民の健康的な生活習慣や衛生管理、安全な水の利用を促進するために、新たにボランティア55名が選抜・育成され、活動に従事しています。これまでに5,444世帯を対象に戸別訪問を実施し、各家庭のトイレ設置状況や衛生施設へのアクセス状況を評価しました。地域住民から信頼されるボランティアの存在は、活動を着実に世帯レベルに届けるために重要な役割を果たしており、赤十字の活動を力強く支えています。



地域を守る赤十字ボランティア

ご要望に応じて

- ・ ご要望に応じて講演会・報告会（対面/リモート）を実施します。
- ・ 現地からの広報資材（写真、動画）など、自由にご活用頂ける元素素材を提供します。
- ・ 状況やご要望に応じて、事業地視察が可能です。※視察にかかる費用等はご負担ください。
- ・ 日赤の広報媒体などで賛同企業・団体として社名・団体名を掲載させていただきます。

SDGsへの貢献

